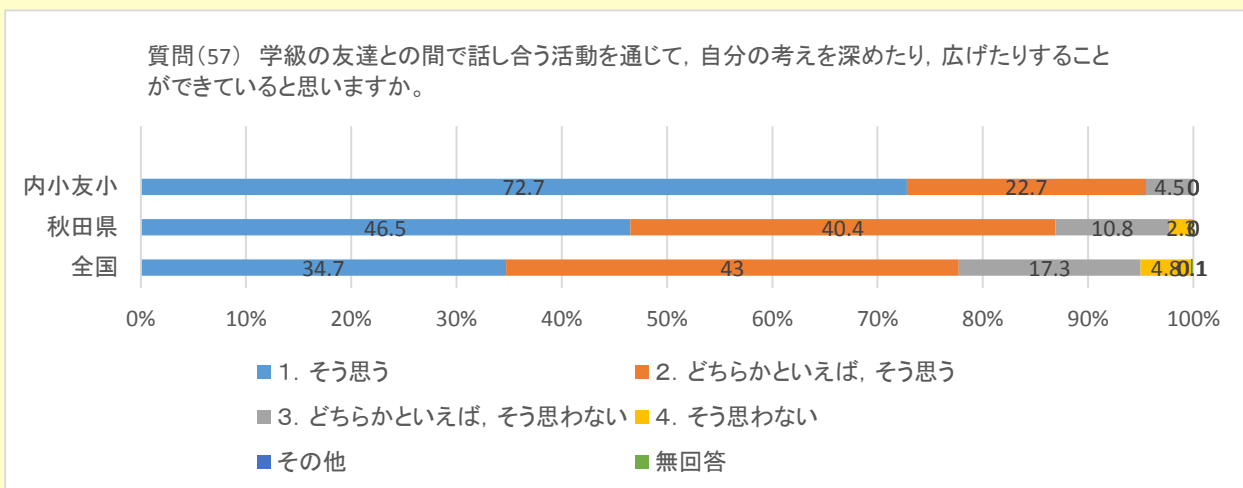
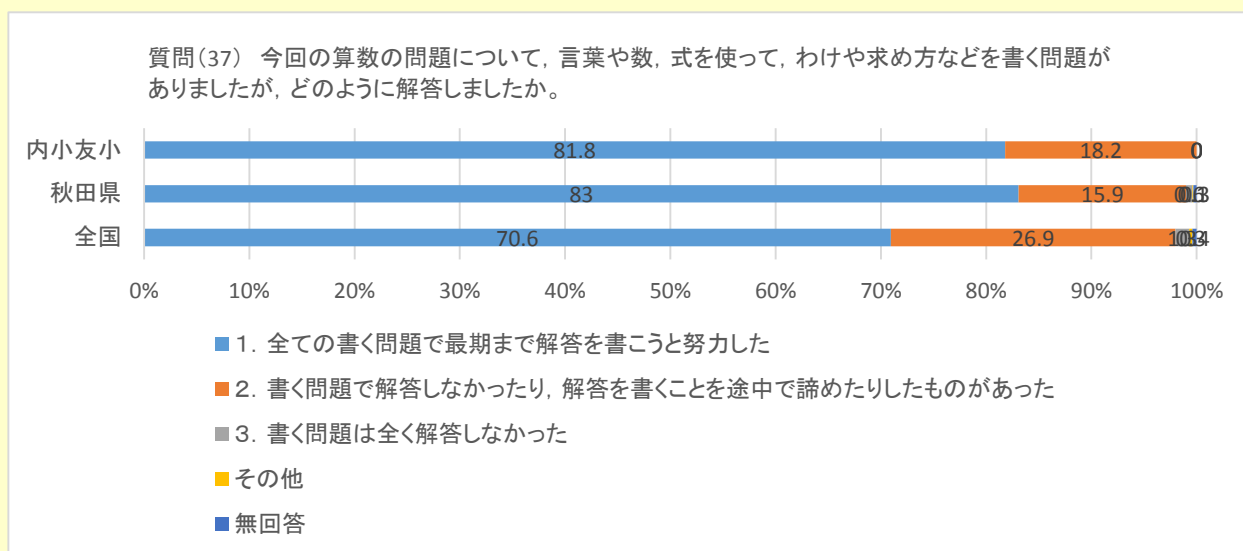




全国学力・学習状況調査から見えること (Ⅳ) ～児童質問紙～

このシリーズも今回が最後です。

No.24 に書いたように、学習面での本校の児童の弱点は「意味や自分の考えを、示された条件に合わせて書く」ということです。質問紙では、そのような問題をどのように解いたか、また、普通の授業で友達と話し合っ自分の考えを深めているかを問う質問もありました。本校児童の結果は、以下の通りです。



上記の結果から、子どもたちは諦めずに解答しようとしており、普通の授業でも話し合う授業を通して自分の考えを深めていることがわかります。後期の重点として挙げた、「私の考えは話し合っよくなる」ことを実感させる授業、教師が答えをまとめない授業、つまり「自分たちで答えを作り出す授業」を一層推進していかなければなりません。しかし、一部の学年だけで実施しても弱点の克服にはつながらないでしょう。全学年を通して実現できるよう取り組んでいきたいと思ひます。